

一 西 だ よ り



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年6月20日 第9号
発行;校長 村上謙一

【EDIX大阪に参加して】

6月11日(水)～13日(金)の3日間、省庁や大学、企業、研究者らが全国から集まり、セミナーや教育DXサービスの展示会が大阪で開催されました。私も教育の未来像を探するため、この会に参加してきました。40を超える教育産業や機関が一堂に集まった展示会場は熱気にあふれていました。教育の未来を模索する若い教師も大勢おり、頼もしく感じました。現在の教育をリードする講演も多数開催されましたので、その中から私が学びとして受け止めたものを少し紹介させていただきます。

木村泰子、工藤勇一、岡田武史(元サッカー日本代表監督)の三者による講演の予定でしたが工藤先生は体調を崩され残念ながらご欠席でした。しかし工藤先生が語られる予定であった内容は2人の先生が代わって述べられました。「主体性と当事者意識をいかに育むか」について、3人の先生方の実践と理論が述べられました。岡田先生は現在愛媛県今治市で私立高校の理事長をされています。岡田先生は「ドバイの砂漠に洪水がおこる現在。何が起るかわからないし、何かが起こった時に前例がない。だから自ら主体的に考える人材を育てている。」と語り、「授業は最低限の授業時数として、生み出した時間は学びのフィールドを地域社会に移している。寮は2年生までなので、3年生になるまでに寮に代わる生活基盤を生徒は創り出している。起業する者もいるし、地域の商店街を復活させつつある生徒もいる。先生をコーチと呼び、社会で活躍する人を招いている。定期テストや学科試験は廃止した。」など、まさに前例のない教育スタイルに挑戦し続ける取組を熱く紹介されました。

また、東京学芸大学の高橋純教授はデジタル学習基盤を生かした授業づくりの現在の姿を示されました。1人の教師が35人の生徒の前で一斉指導する姿はそこにはありません。教師と学ぶ生徒、仲間と学ぶ生徒、様々な教材を自ら集めてひとりでの学びを深める生徒、同じ教室でそれぞれが自ら決めた学び方で学ぶ複線式の授業が示されました。

これらの新しい取組は失敗するかもしれません。これまで学校には失敗を極端に忌諱する文化がありました。失敗すればやり直せばいい、この思い切りがなければ前例のない未来に生きていく力は育めません。失敗を恐れず、やってみることの大切さを学んだ今回の研修でした。

【学校保健集会】



6月16日(月)、豊川市保健センターからピタコチョ先生をお招きし、大勢の保護者にもご参加いただいて開催することができました。

1年生ではえた歯は4年生まで、6年生ではえた歯は中3までが「虫歯危険ゾーン」です。歯みがき、しっかりできていますか？ 会の後、ピタコチョ先生からは、「児童の皆さんが主体的に行動されていておどろきました」と、お褒めの言葉をいただきました。保健委員の皆さん、企画・準備・練習、たいへん立派でした。ありがとう。

【4年生 環境学習】

6月17日(火)、アイシンシロキ株式会社様、今井光代様、アスクネット様にお越しいただき、4年生が環境学習を進めました。SDG's17のゴールは自然環境、社会、経済活動、パートナーシップそれぞれの階層で互いに連動しています。また、一人ひとりの意識や行動から始められます。6年生は9月の修学旅行で大阪・関西万博でゴール達成までの残された5年のあり方を学ぶことになります。小学校の学びもやはり、連動しています。



【2・4・6年生 陶芸教室】



陶芸家の尾藤様にお越しいただき、陶芸作品をつくっています。作品は10月18日(土)～19日(日)の子ども作品展(赤塚山公園)で展示されます。

【ノーダッシュグランプリ開催】

生活委員会の皆さんが企画してくれました。6/23～6/27の5日間、梅雨時のすべりやすい廊下を走ってけがをしてしまう事故を防ぐことが目的です。賞状獲得の栄冠はどこクラスに送られるでしょうか。

【サポーター】

前号でご案内しましたところ、さっそく除草作業や教室の支援にご協力をいただきました。ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。